

 **コムテック株式会社**

第34期(2010年3月期)

第2四半期決算説明会

2009年11月26日

<http://www.ct-net.co.jp>

(**JASDAQ** コード番号 : 9657)



本日の説明会の流れ

16:00～

①会社概要

代表取締役社長

②第34期第2四半期決算業績

菅家 博

③第34期下期ビジネス戦略

16:40～

まとめ

代表取締役会長

伊倉 佳紀

16:50～

質疑応答

会社概要

会社概要

- **事業内容** IT関連トータルサービスプロバイダー
- **設 立** 1976（昭和51）年11月6日
- **代表者** 代表取締役会長 伊倉 佳紀
代表取締役社長 菅家 博
- **本社所在地** 〒105-6791 東京都港区芝浦1-2-1
シーバンスN館10F
- **資本金** 7億6,272万円
（JASDAQ上場 1991年11月）
- **売上高** 151億9,600万円（2009年3月期連結）
- **全グループ
従業員数** 正社員 859名 （2009年9月末現在）
（契約社員・パートアルバイト 1,314名）



グループ概要

当社は株式会社ケイ・シー・ティおよび株式会社シンカの株式を追加取得いたしました。



当社グループのサービスモデル3本柱

ITS

MSS

DMS

主要サービス

該当グループ会社


IT支援サービス

システム開発

ITインフラ構築

ヘルプデスク

コンサルティング

 KCT 株式会社 ケイ・シー・ティ

 Comnext

コムネクスト株式会社

 Human Ware
株式会社ヒューマンウェア

営業支援サービス

フルフィルメント

テレマーケティング

コールセンター

営業支援／代行

採用支援／コンサルティング

 SHINKA

株式会社シンカ

 Human Ware
株式会社ヒューマンウェア

業務支援サービス

データエントリー

イメージエントリー

事務処理代行

 Human Ware
株式会社ヒューマンウェア

トータルアウトソーシングサービス

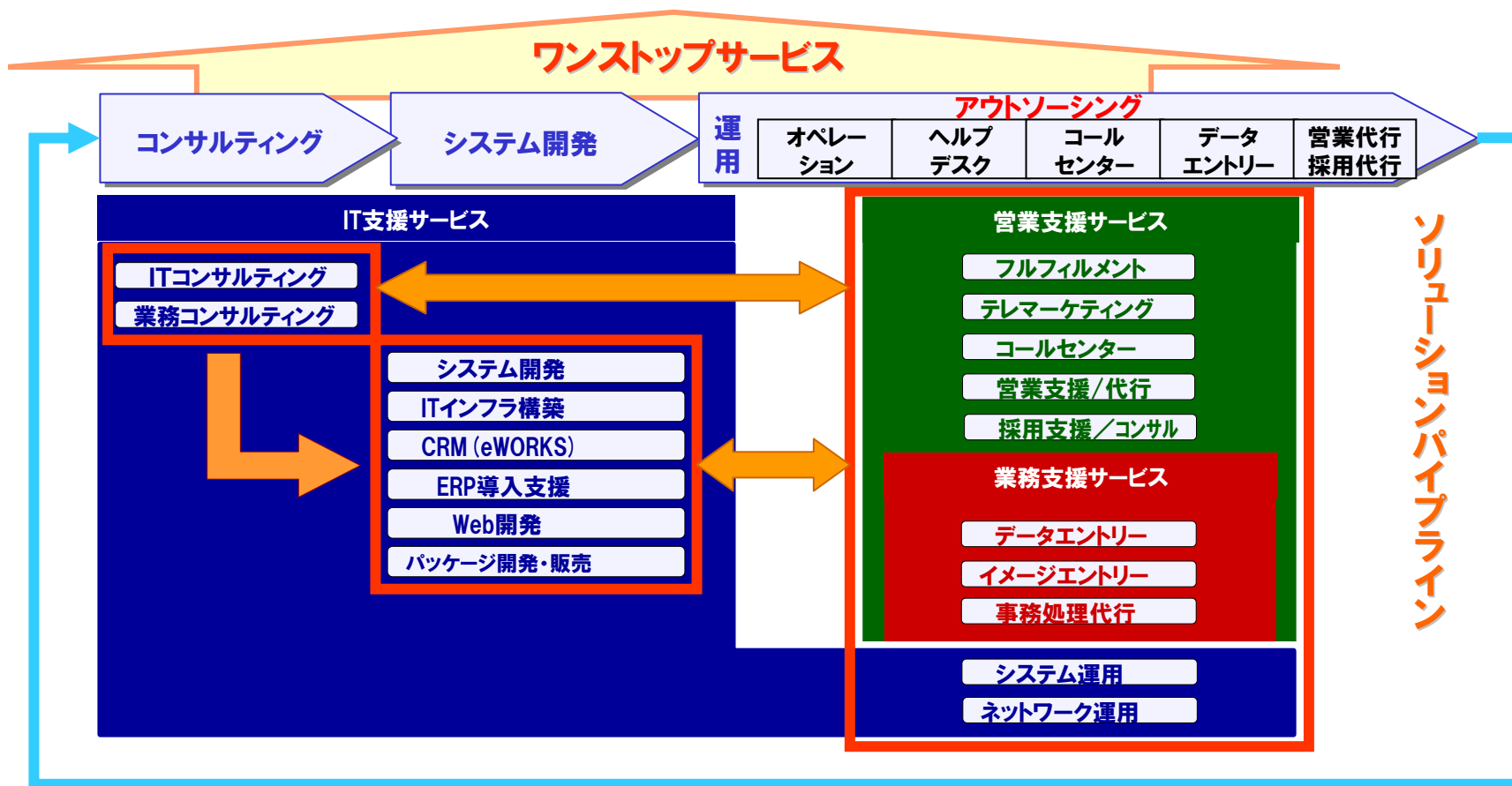
— コムテックのコアコンピタンス —

ワンストップサービス

ユーザー固有のニーズに合わせてコムテックサービスメニューを組み合わせ、統合的なソリューションとして提供する。

ソリューションパイプライン

コンサルティングから開発、運用・保守に至るまでの一気通貫したサービスを、ユーザーのニーズ/局面に合わせて順次連係し提供する。



第34期第2四半期決算業績

第34期第2四半期決算業績ハイライト

(単位:百万円)

<連結>	'09/03期 第2四半期	'10/03期 第2四半期	前年同期比	通期見通	進捗率
売上高	7,685	6,365	▲17.2%	13,530	47.0%
営業利益	390	226	▲42.1%	630	36.0%
経常利益	386	208	▲46.0%	590	35.3%
四半期純利益	165	63	▲61.7%	285	22.3%

<単体>	'09/03期 第2四半期	'10/03期 第2四半期	前年同期比	通期見通	進捗率
売上高	6,693	5,600	▲16.3%	11,700	47.9%
営業利益	360	268	▲25.6%	570	47.0%
経常利益	361	251	▲30.3%	530	47.5%
四半期純利益	173	114	▲34.0%	255	45.0%

セグメント別概況(連結)

(単位:百万円)

Topics

セグメント		'09/03期 第2四半期	'10/03期 第2四半期	前年同期比
DMS <small>データマネジメントサービス (業務支援)</small>	売上高	1,778	1,668	▲6.2%
	粗利益	402	338	▲16.1%
	粗利益率	22.6%	20.3%	
MSS <small>マーケティングサポートサービス (営業支援)</small>	売上高	2,762	1,951	▲29.4%
	粗利益	763	488	▲36.0%
	粗利益率	27.6%	25.0%	
ITS <small>ITサービス (IT支援)</small>	売上高	3,144	2,745	▲12.7%
	粗利益	850	740	▲12.9%
	粗利益率	27.1%	27.0%	

カード会社向け
業務代行
ビジネスの拡大
臨床検査会社
向け一部業務
の終了

営業支援業務の
縮小
シンカへの採用
市場低迷の影響

ITベンダー向け
システム開発・
運用堅調推移
システム開発
業務縮小・凍結

DMS :データマネジメントサービス
(業務支援)

MSS :マーケティングサポートサービス
(営業支援)

ITS :ITサービス
(IT支援)

－ プラス要因 －

- ITベンダー向けシステム開発・運用・インフラ構築が堅調に推移
- 金融系顧客の営業拠点・センター統廃合に伴う大型案件が拡大
- ETCカードの需要増加(高速道路料金の休日割引)に伴い業務増大

－ マイナス要因 －

- 景気後退によるシステム開発案件の縮小や凍結、受注単価の値下げ要求
- 医療機器製造販売会社向けの営業支援業務が大幅に縮小
- ソフトウェアベンダー向け物流業務が前期第1四半期で終了
- シンカ(連結子会社)、採用市場低迷を受けて採用業務代行サービスが縮小

第34期第2四半期 主要な特別損失

(単位:百万円)

特別損失 50百万円

■ 移転費用引当金繰入額	18
--------------	----

- ・シンカの本社事務所移転費用引当

■ 減損損失	12
--------	----

- ・遊休資産の減損 11
- ・処分予定の土地建物の減損 1

■ 固定資産除却損	3
-----------	---

- ・案件の終了に伴う業務用ソフトウェア除却 2
- ・電話加入権解約分 1

下期ビジネス戦略

第34期下期重点施策

今年是我慢の年。来期に向けた、種まき仕込みの年。

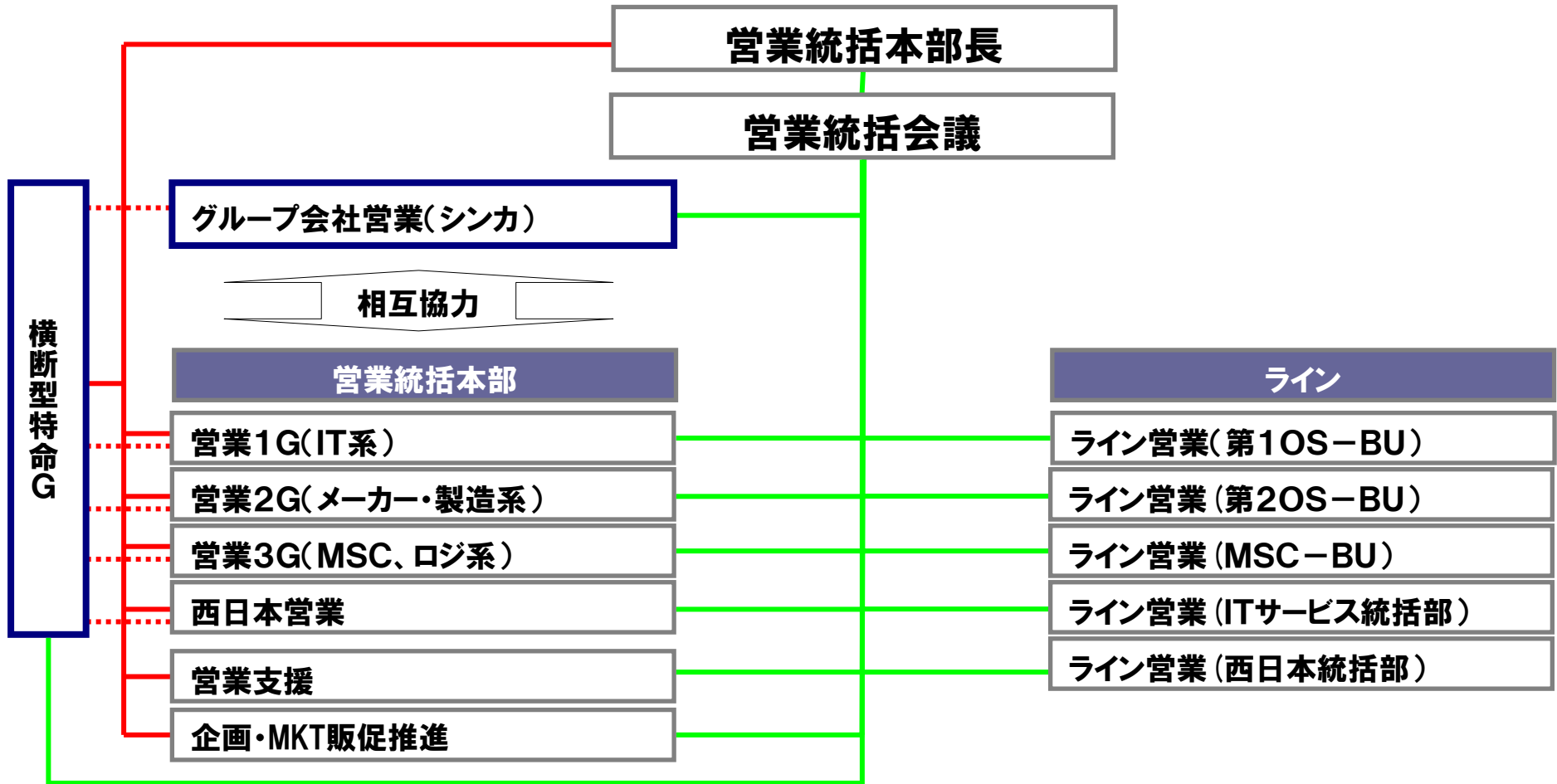
1. 営業力強化

2. 構造改革

3. 新規事業展開

(1) 営業体制の変更(体制強化)

- ・営業とラインを一体化した組織(ラインの部門長、マネージャ参加)
- ・グループ会社営業との一体運営(Onecom)

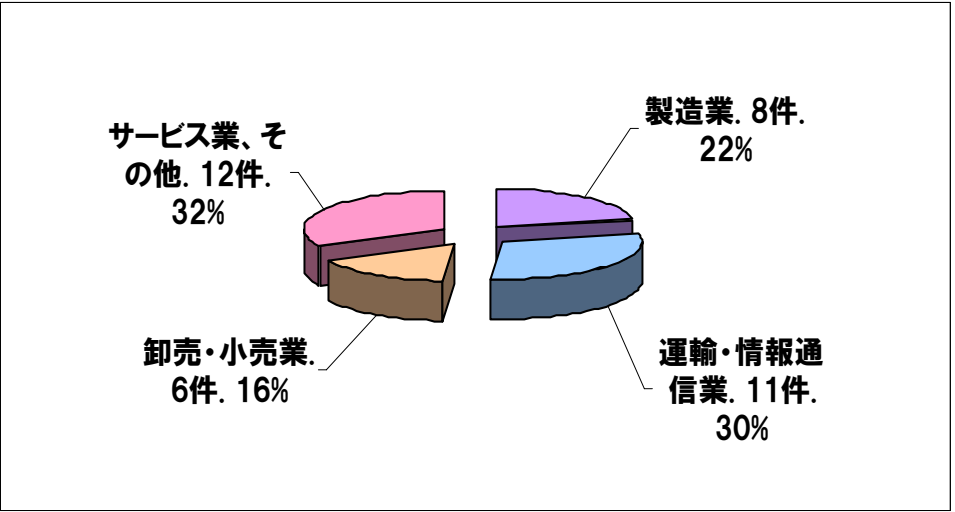


(2) 第34期上期営業実績及び下期注力業態

第34期10月末現在の新規顧客獲得数

昨年対比 110%口座獲得予想

業態	獲得社数
製造業	8社
運輸・情報通信業	11社
卸売・小売業	6社
サービス業、その他	12社
計	37社



- **医薬品メーカーA社**
 ●上期獲得したMR向け営業支援システムを同業界の準大手企業に順次横展開する。
- **サービス業B社**
 ●上期獲得した販売管理システムの全国導入支援業務を基に、導入後のヘルプデスクセンター構築・運用を獲得する。
- **事務機器メーカーC社**
 ●上期獲得したメーカー向け品質管理システムのコンサルティング業務を基に、開発・導入支援業務を獲得する。

(3) 市場(マーケット)へのアプローチ

		成長性	革新性(挑戦)	安定性(従来型)
ターゲット顧客		将来性のある ベンチャー・中堅企業	製造業	大手企業・大手SIベンダー 官公庁
ニーズ		<ul style="list-style-type: none"> ・売上をどうあげるか ・営業力を強化したい ・IT要員の人材不足 	<ul style="list-style-type: none"> ・高コストなERPからの脱却 ・IT投資の最適化 	<ul style="list-style-type: none"> ・最適コストで高品質の運用 ・適材な技術者の不足
ターゲットサービス		営業支援サービス	新しい技術手法による システム再構築サービス	IT開発運用・保守支援、 業務支援サービス
ITS	システム開発			
	ITインフラ構築			
	ヘルプデスク			
	コンサルティング			
MSS	フルフィルメント			
	テレマーケティング			
	コールセンター			
	営業支援/代行			
	採用支援/コンサルティング			
DMS	データエントリー			
	イメージエントリー			
	事務処理代行			




2. 構造改革の実施(体質改善)

販売管理費 19.7% → 目標 18.5%
(2009.4現在) (2010.3予定)

本第2四半期 17.8%

- **経費管理の徹底** : 採用費、通信費、出張旅費・交通費等
- **不採算Job・不採算部門の整理・統合**
- **拠点統合** : グループ全体の拠点最適配置
- **新人事制度の採用** : 適正な人件費の確保

3. 新規事業展開

新規事業／内容		状況／効果
シンカ社 連結会社	新卒／中途採用 活動支援(e-fit) 	<ul style="list-style-type: none"> 不況による採用減少、リクルーティング市場縮小のなか、採用支援システムe-fitの導入社数は昨年と同水準をキープ <u>今期上期導入社数:76社（前期上期導入社数:75社）</u> 構造改革の一環で、10月に赤坂見附から中野に本社移転コムテック(中野CC)との併設により業務効率化を推進 オフィス賃借料削減効果は月額約340万円の削減
シナジー社 営業譲渡	 勤怠管理システム	<ul style="list-style-type: none"> 大手住宅メーカーのグループ会社横展開開始 システム(スタッフマスターFX)のリニューアルを計画 それにより市場拡大を狙う
コムネクスト社 設立 連結子会社	新生産管理モデルの設計支援及び開発 	<u>メーカー不況の中で、製造業でもオープンソースの台頭</u> <ul style="list-style-type: none"> 大手タイヤメーカーの金型のグローバルサプライチェーンシステムをオープンソースによりプロトタイプ開発 国産大手ERPベンダの生産管理パッケージへのオープンソースツールのバンドル販売(大手食品会社2社へ納入) 大手住宅設備メーカーのグループ工場へのオープンソースERPの導入

2010年3月期 通期業績見通

(単位:百万円, %)

<連結>	第2四半期 実績	通 期	
		見通	前期比
売上高	6,365	13,530	▲11.0%
営業利益	226	630	▲13.1%
経常利益	208	590	▲16.6%
当期純利益	63	285	—

<単体>	第2四半期 実績	通 期	
		見通	前期比
売上高	5,600	11,700	▲10.6%
営業利益	268	570	▲16.1%
経常利益	251	530	▲20.6%
当期純利益	114	255	—

株主様への還元① ~配当政策・選択肢の拡大~

1. 配当政策について

	08年3月期			09年3月期			10年3月期(予定)		
	中間	期末	計	中間	期末	計	中間	期末	計
普通配当	7円	18円	27円	7円	20円	27円	7円	13円	20円
記念配当	—	2円		—	—		—		
配当性向	38.2%			—			39.4%		

※事業環境等を勘案し、1株当たり中間配当金を7円、期末配当を13円(予定)としております。

株主様への還元② ～株主優待制度～

<従来の優待制度>

2,000株以上保有の株主様に対して
:3,000円相当の観葉植物贈呈



<前期より追加された優待制度>

3年以上保有の株主様に対して

・1,000株以上5,000株未満保有の場合
:4,000円相当のフラワーギフト贈呈

・5,000株以上保有の場合
:5,000円相当のフラワーギフト贈呈





代表取締役 会長

伊倉 佳紀

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。

したがって、実際の業績等は、業況の変化等により本資料の予想数値と異なる場合がありますことをご了承ください。